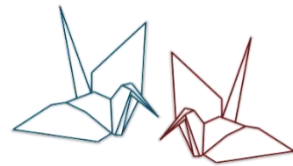


未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより 4月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
校長 大久保仁晶
平成30年4月6日発行

入学・進級 おめでとうございます



このたび、縁があって鶴嶺小学校の校長として着任した大久保仁晶（おおくぼ よしあき）です。

平成30年度、児童数1075人、学級数33学級でスタートしました。4月5日に登校し、新しいクラスの名簿を受け取り、新しい友達との出会いがありました。始業式、着任式では担任の先生の発表があり、新しい先生との出会いがありました。そして、4月6日には216人の新1年生が入学しました。4月は新しい出会いの季節です。子供たちが「今年もがんばるぞ」という表情で、先生方の話を聞いている姿が印象的でした。この様子を見て、私たち教職員も、子供たちの目当てや期待に応えられるよう「子供が学校に来るのが楽しみな鶴嶺小学校にしよう」と決意を新たにしました。

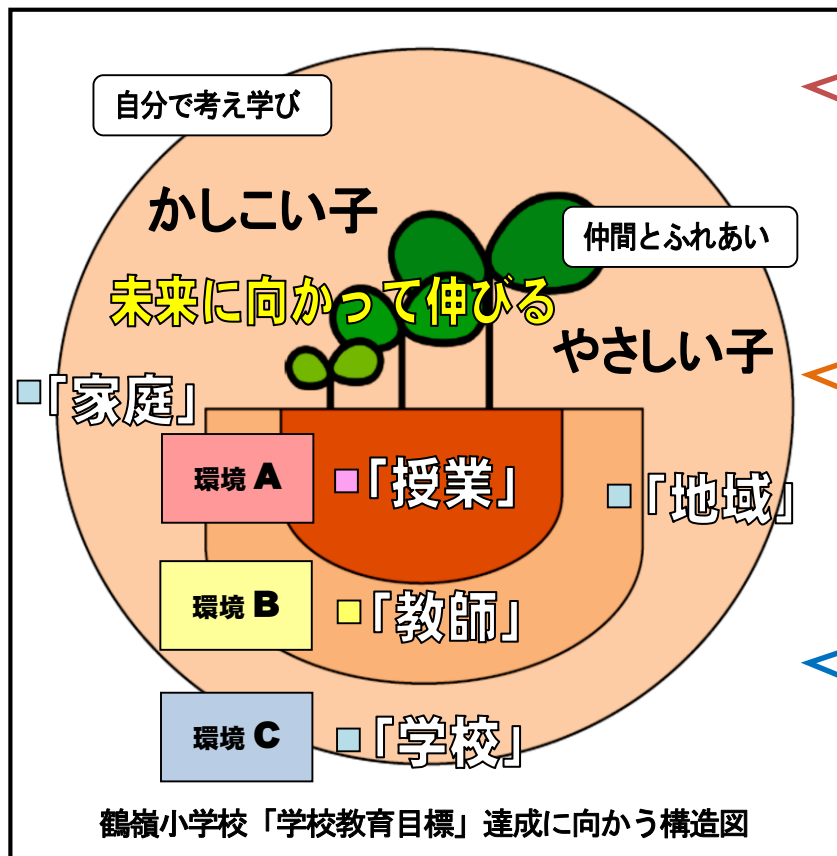
さて、児童の成長を図っていくためには、豊かな「環境」を用意しなければなりません。次に、目標を達成する環境ABCの構造図を示しました。双葉の成長は、低・中・高学年の児童の成長をイメージしています。環境の三つの要素について、右に説明をいたしました。植物を見たときにも、成長には「温かな日差し」「いのちを潤す水」「伸びるための栄養」が必要です。人間の心身ともに健やかな成長には、同様な環境が必要です。子供が育つ「学校」「家庭」「地域」。今年度も豊かで良い環境を生み出していくために、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

■教育の目標

■学校教育目標 (伸びる児童の姿)

未来に向かって伸びる鶴嶺の子

- 自分で考え学び 「かしこい子」
- 仲間とふれあい 「やさしい子」



A 授業

豊かな成長に直接に影響を与えるのは、日々の「A 授業」です。共に学びあう授業を用意していきます。

確かな学力を身に付けるためには、一人ひとりの児童に「わかる」ことの喜びと「できる」自信が必要です。

仲間と共に学びあい、自分で考え学ぶ児童を育てていきます。

B 教師

児童の成長にとって学校での最大の環境は、「B 教師」自身です。ご家庭では「保護者」の皆さんです。私達の「笑顔」は、子供たちへ安心と励ましのメッセージになります。

あたたかな眼差しと関わりを「マインドフル」と言います。愛情いっぱい育てていきましょう。

C 学校・家庭・地域

教育の当事者としての教師と保護者。その二者が子供の成長のために「よい関係」をつくっていくことが不可欠です。協同の取り組みです。

一緒に子供たちの成長のために頑張ってまいりましょう。日々の出来事を成長につなげていきたいと思えます。地域は、私たちの応援団です。

鶴嶺小学校「学校教育目標」達成に向かう構造図